



社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No.15(昭和59年)
社会福祉法人鶴風会
後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニュース15号をお届けします。

今号は東京小児療育病院及びみどり愛育園の記念祝賀式典における理事長挨拶と学生レポーターによる病院見学記を掲載いたしました。



療育二十年の歩み

社会福祉法人鶴風会理事長

倉島 摂子

本日ここに東京小児療育病院創立二十周年、みどり愛育園創立十五周年の記念祝賀式典を執り行うにあたりまして一言御挨拶を申し上げます。今日のごく内輪の会でございますが来賓の方々、父母会の役員の方々、当法人役員の方々、旧職員代表の方々と皆様には公私共に御多忙の中をまして平日の午前中というお出ましくい時間でございますのに遠路はるばる御臨席いただきまして誠に有難うございます。

二十数年前このあたり一帯は荒野原でございました。この土地に何とか幼少脳性マヒ児の病院をとの悲願から、故龍知恵子先生を先頭に先輩の先生方がそれはもう寝食を忘れて東奔西走されあらゆる困難をのり越えて、昭和三十九年四月二十六日開院の運びとなったのでございます。しかし草創の意気盛んであっても運営は筆舌につくしがたい苦勞の連続でございました。挫折感で辛く悲しい時、脳性マヒ児の早期発見・早期療育をとの理念を唯一の支えに之れは医師として誰かがなさねばならぬとの使命感でございました。

施設は前半十年間は陽のあたることがなかったのですが職員が困苦欠乏に耐えて子供達の療育に頑張ってくれました。今日当施設が民間として異例の社会的に高い評価を得られましたのも職員達の心と力の結集でございます。それは本日ここに表彰をうけます動続二十年以上九名、十五年以上七名、十年以上三十名と実に職員の1/3が十年以上という事実で御納得いただけたと存じます。有難く感謝いたしております。

今年のみどり愛育園の増改築もでございます。私共力をあわせて努力いたしますが現在の福祉をとりまく諸情勢は更にきびしいものとなっております。

今日お集まりの皆様の御心に沿うためにもこの情勢をしっかりと受けとめ、二十年の積み重ねた実績をもとに施設をより充実発展させてゆく覚悟でございます。皆様にお誓い申し上げ御挨拶いたします。

東京小児療育病院 二十周年

みどり愛育園 十五周年

祝賀式典における理事長挨拶要旨

東京小児療育病院 みどり愛育園

を訪ねて

戸板女子短期大学生活科

松丸聡
根本美和子

東京といつてもまだ緑が多く残る武蔵村山市のにぎやかな住宅地からはずれた閑静な場所に東京小児療育病院があります。

この病院は社会福祉法人、鶴風会により昭和三十九年に開設され、脳性マヒによる障害児の早期療育を行っています。重度の精神薄弱



と重度の肢体不自由が重複し、毎日ベットで過ごさなければならぬ児童の療育と日常生活指導を目的として開設された。みどり愛育園を併設しています。

ここには0歳から23〜24歳位までの子供が収容されており、この子供たちが将来、出来るだけ障害を克服して、生活していけるよう総合的な療育を行っています。

医療面からは医師によって各入院児の健康管理と療育管理効果の総合的監視や必要に応じては整形外科的手術が行われます。看護婦によって診察の介助や病室の豊かな環境づくり等、療育効果が一層あがるような努力がされていますし、

理学療法士による言語指導も行われています。

生活の面からは看護関係職員、児童指導員、保母が中心となって遊びを通して色々なものに直接触れ、見たり聞いたりすることにやり経験を豊かにし同時に入院児同志のかかわりを深めます。食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立にむけても、指導を行っています。

心理指導員は入院児の心理面、発達面を考慮して、必要に応じた心理指導を行います。

療育相談はケースワーカーが担当し、入院児及び外来児の療育上の諸問題についての相談に応じられています。

外来診療では、脳性マヒ児の早期発見のため諸検査、合併症の医学的治療、機能訓練、心理両面の発達を促進させるための指導と母親に対する助言、指導を行っています。

母親に何らかの原因があり、障害児が生まれる確率は妊娠前、妊娠中で30%、出産前後で60%、出産後で10%とされています。

まず、妊娠前、妊娠中の原因としてあげられるのは風しん、投薬食生活などです。出産前後は骨盤が歪みためや、その他の理由に

よる難産などで、出生後の原因は予防接種を行わなかったためや、はしか、強度の黄疸、高熱の続いた場合などです。

遺伝的なものや医学的に見て仕方のないものもありますが、母親になる者が母親としての自覚をもてばすんだであろうことも多いのです。

みどり愛育園園長 棚瀬 延先生と鶴風会理事長、倉島撰子先生のお話をもとに薬品、食生活を例にとつてまとめてみたいと思います。

まず薬についてですが、最近では風邪をひいたと言えは風邪薬、頭痛が痛いといえは頭痛薬というように何でも薬に頼ってしまう人が多いうです。体の調子が少し悪いというだけで薬を飲むくせをつけてはいけません。

妊娠は生理現象であるにも拘わらず、苦痛だと思ひこんだり、不眠などの不安から薬に頼ってしまったために障害児が生まれてしまうケースもあるのです。

サリドマイド児の場合は胎児の骨が形成される妊娠のごく初期の母親の薬の服用が原因と言われています。

次に食生活についてですが、一般にふだん摂っている食事をみてもエネルギー、たんぱく質は潤沢

ですがカルシウム、ビタミンB₂などの微量栄養素は充分摂れていません。

若い女性の食生活では特に鉄分が不足しがちで軽い貧血の人々が多いのが現実です。朝食をとらない若者も多く、またダイエットなどといって野菜や果物を中心にした食事をしている人も増えていきます。

若いうちからの栄養のバランスのくずれから子宮や卵巣の発育がさまたげられ、障害児が産まれたり、難産から死産に至るケースもずいぶんあるということです。

このような点からみると、きちんとした食生活から難産を防げるとも言えると思います。

また、現代社会において調理の機械化やインスタント食品、冷凍食品の大量普及により食生活の簡便化が進んでいます。

加工食品をはじめ調理済み食品、外食等、主婦が何もしなくても、また出来なくても家族は食事をすることが出来ます。

しかし、食生活の最大目的はバランスのとれた栄養はもたらんこと、心をこめて作った食事だと私達は考えます。

核家族が進み、また、経済面などから共働きの家が増えて、食

生活の目的意識がなくなりインスタント時代になりつつあります。

一体、おふくろの味はどこへ行ってしまったのでしょうか。このままでいくとこれからの子供はおふくろの味を知らないままになってしまおうのでしょうか。

以上のお話からインスタント食品が絶対いけないと言っているわけはありませんが、母親の愛情のこもった料理が食卓から消えつつあることがどんなにさびしいことか、便利さだけにつられてしまふことがどういふことに結びつくかを知ることが大切だと思えました。

私達は栄養士の卵という立場から、今後の勉強という意味も含めて、障害児の給食管理について大塚さんにお話を伺いました。

この病院の給食管理についてはここに勤務なさって10年になるという管理栄養士の大塚周二さんが行っています。とても誠実で、てきぱきとした行動力をもつ栄養士さんです。

現在、給食係は管理栄養士1名、栄養士1名、調理士4名、調理員4名、書記1名、パート1名、計14名の方達で東京小児の肢体不自由児80数名分とみどり愛育園の重度心身障害児50名分の患者食、職

員食の献立、調理、配膳を行っています。

まず、調理場を見学させて頂きました。ちょうど夕食の準備中で配膳車の上におぼんが置かれ、皿に白身魚のフライとタルタルソースなどを盛りつけているところでした。フライはきつね色にからつ

と揚つたものですが、切り方はいろいろで、細かく切られたもの、さらに小さきぎざんだものやペースト状になったものもありました。普通食の他にぎざみ食、軟菜食、流動食、ミキサー食など原料は同じでもその子供によって食事形態

がかわっていました。材料や調理法では何でも食べさせることが基本だそうです。

寝たきりの子供は動ける子供に比べて腸の働きが悪いということから便秘になりやすく、朝起きたときに冷めたい果汁を飲ませたり、いろいろ工夫しているそうですが、効果の見られない場合は薬で調整することもあるそうです。

栄養管理で一番重点をおこななければならないのは栄養所要量です。一般病院の場合、一般食は厚生省の指示による栄養所要量を参考にすればよいのですが、障害児は年令と体重が比例して成長しないので、そのまま使用することが出

来ず、自分で考えなければならぬのです。ですから体重にもとずいて栄養所要量を決めるという感じになるわけですが、運動機能も加味できないので必要量をどのよう

に定めるかということが一番の悩みだそうです。施設内部を見学させて頂くと、障害の軽い子供たちの部屋は保育園のようににぎやかで「お姉ちゃん、どこから来たの」「今日の夕食はなに?」とか「今日の朝ごはんはおいしかったよ」など。

こんな会話の中から、子供達の食物の嗜好がのぞくのですが、寝たきりの子供たちとはこういつたコミュニケーションがもてません。

あたえた食事で満足しているのかどうか、わからないのが残念ですが、一ヶ月に一度の残菜調査からある程度は推察することが出来るそうです。

障害児は個人差が大きいけれどもなるべく一人一人をみてスキンシップを大切にして行きたいと言うことでした。重度の子供たちの部屋では、ちょうど夕食時で看護の方々が子供たちを抱いて一生懸命、スプーンで口の中に入れるのですが、飲み込む力が弱い

ため、それを又口の中に入れて背中をたたきながら食べさせていました。廊下を必死になつてはつ

ている子、ただ椅子に座っているだけの子を見て、私達は何て幸せなんだろうと深く感じ、人々に両親に感謝する気持ちでいっぱいになりました。

この施設は建物も大きく、設備も整っており、訓練や看護の方たちは若い方が多く、てきぱきと働いていて、子供たちの療育にとっても良い環境だと思います。見学を終えて感じたのは、ひとつの生を受けて生まれてくる子供達のために、将来、母親になる私

達一人一人が自分自身に自覚を持たなければならぬと言うことです。

まして私達は栄養士になるための勉強をしているのですから、生活の面から私達の生活全体を見直す必要があると思えます。

最後に看護婦さんや保母さんが毎日、一生懸命、母親以上にめんどうを見て、週末外泊のため迎えにきた母親の顔を見ると、今まで保母さんに抱かれて甘えていた子供が、母親にとびついて喜ぶという話を聞いて、どんな状態であろうと親と子の絆は深いと感激させられました。

▼お知らせ▲

☆ 昭和五十八年度の募金総額は、九、三五六、九一六円。御寄附いただいた方の延人数は、九九六名でございます。

☆ 昨春秋の第七回チャリティバザールでは、
当日売上 四、〇五五、二〇二円
寄附金 一、四七〇、二三三円

計 五、五二五、四三五円
☆ 以上の成果をあげることが出来ました。皆様の温かい御援助、御協力に心より御礼申しますと共に別紙の如く本年のチャリティバザールにも、御支援を御願ひ申し上げます。

後援会寄附者御芳名

バザー寄附者をふくむ
五八・八一五八・十二
五六二名

安藤明子・青木幹恵・浅利重子
天野まき子・青木ゆう・荒井秀雄
相沢ミツエ・安倍マサ・青柳よし子
姉小路和子・安東敬子・青木悦
阿部賢昭・阿久津絹江・天野悦男
芥川芳枝・朝倉富美子・芦立かつ
安立かほり・秋山延子・青木慈穂
秋山貞子・足立嘉子・青山慈子
赤羽弓子・荒木保子・青木千代子
相原智恵子・足高毅・石川きみ子
井口洋一・井上照子・井上幸子
五十嵐千代子・市川寿雄・井上キ
磯村 光・飯田桃夜・伊藤 禮
板倉玉子・稲垣玲子・磯 サワ子
五十嵐いづ子・石井昌・石北寿子
池田愛子・石田文枝・諫山高雄
諫山和子・稲葉真理・伊東カメ
池田 聖・石原 純・伊藤友二
伊藤正子・井上裕子・一宮勝也
伊藤公子・石川キク・岩崎裕三
市川ハナ子・出井 道・池上博子
岩上静子・五木玲子・伊藤梅雨子
今西昶子・飯塚治子・飯田久代
伊藤篤子・石橋敏子・岩崎由紀子
飯田和成・石川文子・飯野龍吉
石川 至・池田貴美子・石橋幸夫
石崎百合子・白井重三・内ヶ崎仁子
牛見洋子・氏原多満子・牛込莊一郎
梅原公江・上田富士子・上田 茂
内田博之・上木艶子・内海万寿子
海老原淑子・江川 嶷・江畑敏子
小俣喜久子・大関豊子・大月富子

大久保秀雄・恩田倫二・大谷明子
大森 禎子・及川 貞・大岡良子
岡崎 精子・大下久代・小原正樹
太田文江・緒方 月・岡崎 君代
小俣文栄・大熊 進・大熊はつみ
小野沢 純・奥田嘉門・長田絢子
大曲 治世・岡田節子・沖津くら
尾崎九重・大岡 忍・小田切弘人
忍足正之・忍足美代子・岡崎 隆
岡村シマ子・大目志津子・小口節子
大島誠行・小原該一・大友政子
岡田さと子・大森 堯・沖野佳子
木村剛・大久保 正・大久保充子
小野和郎・太田征四・大橋鎮子
柿沼 英子・笠原 克・川合朝子
川島英世子・勝見富美・加納桂子
川村登美子・釜范登志子・風岡憲二郎
亀谷 了・数井ふさ子・金子泰子
金子忠子・川路春男・勝田三枝子
河合典子・神田直子・川南サチ
加嶋伊勢子・鎌田直子・金丸米子
嘉悦三毅夫・嘉悦敬子・河津 緑
金森 勝士・金田ふみ・柿添瓊子
菅 貞子・笠間 信子・木田信子
岸田千代子・木下 佐・木内徹子
岸 茂子・木村甲子郎・岸本茂次郎
木下和子・岸 直枝・菊池志げ子
木山博夫・岸 芳正・木村美恵子
工藤訓正・倉富孝子・五島雅智子
小林 信子・小山伊松・小林義郎
小松伸弥・近藤澄子・駒林とめ子
小樫温江・古賀和子・後藤励蔵
後藤マン・小室清子・後藤千恵子
呉 政子・小池トシ・河野友治
近藤須磨子・小針照子・後藤広子
河野 静代・小林豊可・小池 脩
壺 具味子・小泉 錦・佐藤つや
斉藤イサチ・斉藤ちなみ・佐々木綾
佐藤艶子・指田和明・佐々木庄八
佐古政穂・佐藤良子・境 敏秀

斉藤卓雄・佐々木美代子・坂井タマノ
斉藤 長則・斉藤富美・斉藤 宏
斉藤 達子・鮫島寛次・鮫島桃子
澤村豊宗・佐藤恭子・笹尾志ずゑ
佐藤 松子・坂田フミ・斉藤則善
篠塚清志・正田二寿子・霜鳥トミ
東海林幸子・白浜光子・柴田とら
下田喜久代・下村節義・品田光江
下島 勝・島津和貴男・篠原 清
篠塚 裕子・椎野悦子・柴田洋子
新 幸子・島村綾子・鈴木繁雄
杉本寛子・鈴木和子・鈴木まち子
鈴木てる子・鈴木隣子・鈴木君子
鈴木かつえ・須田経幸・菅 邦夫
須藤 寧子・鈴木誠一・鈴木 稔
鈴木 嶷・杉本とし・杉山卓哉
杉山尚子・杉原明子・関口喜久子
瀬戸富喜代・関 敦子・関 静
関 若菜・千 哲三・側垣恵子
添田百枝・宗 恒雄・高橋百合子
田鍋庸子・高橋和子・田中三重子
高木輝雄・高橋三代子・高桑幹雄
高梨 晃・高木松江・田郷寿正
竹下こと・多田正子・田崎トシ子
竹内美恵子・多比良勉・田口キヌ
高井貞子・高橋知愛子・田村奈保美
田中彰夫・鷹見静子・高槻義夫
田中さだ・高月正宏・田宮二郎
辰木寿美・竹内神奈・田宮修子
田中成子・田宮 親・田村京子
高橋 絢・田村晴子・武岡秀子
平良 鉄彦・高橋梅子・多内久男
棚瀬 延・高橋節子・竹内 真
高橋恭子・多賀敦子・千木良 清
千島チエ子・千葉広子・千秋キヨ子
千輪 慧・千輪絹子・津金修作
筒井こてふ・塚田成子・塚本佳子
鶴岡康子・塚越京子・堤 千尋
月花 亮・対馬とせ・角田美千穂
出構昭子・寺本みや・友田伊佐子

外山千枝子・豊田道子・道下富信
徳重隆幸・豊川美枝子・富岡瑞子
中島由紀・中館君枝・南條静代
中村富美代・中野敏江・長野文子
中谷 孫一・中川甲子・中平貴子
中川 礼子・中山年子・中澤弥生
中山久子・長井千鶴子・長浜レイ
中根幸枝・中村絢子・中倉千鶴子
中島 桂子・中村陽二・中島京子
永沢康雄・中山静枝・中沢隆一
新実 静江・西本静子・西田文子
西平守夫・西井革子・新谷芳子
野崎成子・野村章恒・野津ゆきの
野原 彰・熊谷正雄・野口道子
野村武子・能登路民子・野口美津
蜂須賀ふみ子・八田孝子・馬場ヨシ
運沼ゆき・林 光子・橋本静子
浜田 雅・馬場紀子・蜂谷イノ子
半沢 紀子・林 益美・林 久子
林茂樹・林敬一郎・半田登喜代
濱田 美・原田チエ子・橋詰直孝
馬場 健一・早川好古・原田 孝
橋本フジ子・羽生章子・林 晴男
羽根田道代・林 秀子・坂堂美都子
馬場孝雄・島中順一・日野チヨ子
日根野妙子・平沢幸子・平山ゆき
平岩扶美子・樋口正俊・日上和子
平岩真理子・平出光・平山玖美子
福田 静子・藤田親代・福田千里
福田 栄子・古野寿子・深見利子
藤本貞子・藤水ひろ子・藤田ルリ子
藤川則子・藤岡美津子・藤崎きよ
福永光子・福田嘉子・藤田よし江
藤沢唯子・別森かね子・船松 洋
堀友之進・堀内千鶴子・星野和子
本間義章・本田哲子・発地瑠璃子
本間厚子・堀内てつ子・松永健治
松永しげ・松野マサヨ・俣野昭一
松岡栄子・増田富士子・真木篤子
町田純一・前田寿馬・馬淵ミツノ

前田エツ・松村あや・篠 節子
松浦 禎子・松下麻蔵・宮崎明子
宮本みち・宮川和幸・宮川千鶴子
宮田 誠子・宮崎 信・宮田敬一
宮崎 よし・宮沢 香・宮下多吉
宮下 裕江・宮坂静子・三橋神酒
宮本 馨・三好幸子・宮前智恵子
水野久美子・水谷さく・瀧谷弘海
箕輪一二三・宮本一村・宮田幸子
三木英子・瀧尾千穂子・村田美代子
村田 憲三・村松功雄・武藤キヨ
村上久仁子・村島良子・本明 寛
森田 和子・守屋孝子・百瀬貞子
森川 幸江・森 勉・森 敏子
森神千代・茂手木三男・山下文子
山口辰雄・山口銀子・柳谷紀子
山縣さくら・山田三枝子・藪本英子
山本徳次郎・山住美津子・山川昌一
山田喜久代・山田公美・柳瀬路子
山本 節子・柳沢信子・山本茂子
山崎婦さ子・矢高レイ子・柳澤博子
山田 琴子・山田カツ・山中さだ
柳田 謙蔵・柳田 淑・谷口量子
矢島 安子・山崎義郎・山崎照子
矢田由美子・湯川玲子・吉田実子
吉原和子・横沢寿美・横山正子
米沢 マチ・米山杏子・横井幸雄
吉見 梓・横山 貞・吉田桃子
横山ちとせ・横沢直治・染満礼子
龍 紀子・渡辺和子・渡辺古都江
渡辺 静子・渡辺 明・渡辺嘉子
渡辺キヨ・和田彰子・渡辺栄久
セントラル病院募金箱・森医院募
金箱・(有)マキ・パール・鶴風会山
梨県支部・実務教育出版(株)・
三共(株)・福神(株)・
中央興医会・
万有製菓(株)・
中外製菓(株)